

桔梗が丘自治連合協議会

問い合わせ先
(桔梗が丘公民館内)

☎ fax 65-1206
✉ kikyou-ko@emachi-nabari.jp



健康づくりで いきいきとした「桔梗が丘」に

桔梗が丘自治連合協議会では、地域ビジョンに6つの基本的な方向を示し、その一つに「生きがい・健康・ほっとまち」を掲げています。高齢化社会をむかえ健康に対する意識が高まる中、余暇の充実やボランティア活動で自分らしい生きがいを見つけ、健康やかに暮らせる社会づくりを目指して、健康推進部会が中心になり、地域住民の健康づくりのためにさまざまな取り組みを行っています。

そのひとつが「ききょう健康まつり」です。年に一回の開催で、今年で8回目となり、11月4日に実施します。当日は、歯科医師会による「歯医者さんの歯チェック」、フィットネスクラブによる「健康度測定」、女性に人気の「骨密度測定」、まちの保健室による「高齢度チェック」や、景品が用意された「栄養たっぷり食べ物ビンゴ大会」など、各方面からの協力を受け、楽しみながら健康について考える一日としています。すでに予約がいっぱいになる人気ブースもあり、200人を超える入場者で会場全体が賑やかな空気に包まれます。

次に紹介するのは、「健康づくりウォーキング」です。本格的なウォーキングではなく、住民同士の交流を進めていこうと、子どもから大人まで、一日ゆっくり散策しながらウォーキングをします。

昨年は、東青山四季のさとで40人を超える参加者が一時間半の行程を紅葉を楽しみながら、気持ちよい汗を流しました。



健康推進部会では、住民のニーズに応えるために毎月「桔梗が丘げんき通信」を発行し、健康情報を分かりやすく伝えるとともに、「健康講座」や「健康体操」の企画にチャレンジし、いきいきとした元気なまちづくりを目指した活動をしています。

地縁法人 錦生自治協議会

問い合わせ先
(錦生公民館内)

☎ 63-0252 fax63-3636
✉ nishikio-ko@emachi-nabari.jp

地産・地消部会を立ち上げ!

錦生自治協議会では、地域の安心・安全な地場野菜の提供を通じ、地域の農業振興と地域経済の活性化ならびに地域福祉の増進を図ることを目的とし、「とれたて名張交流館」の設立に合わせ、「地産・地消部会」を立ち上げました。

今後は錦生特産品「錦生ブランド」を創設し、全国へ発信して行けるよう、生産会員の募集と地域住民の協力を要請していきます。また、身近な野菜のレシピや季節の野菜料理教室なども行っていきます。



錦生地域で採れた野菜を使った料理などを部会で検討



地域の憩いの場 「ほっとサロン錦」



地域内の空き店舗を利用した高齢者の憩いと世代間交流の場所。それが3年前に開設した「ほっとサロン錦」です。毎月第2・4木曜日に、地域のボランティア、まちの保健室、民生児童委員さんたちの協力でさまざまな趣向を凝らした催しを行っています。

サロンには、保育園児や小学生が遊びに来られる日があります。利用者の皆さんは、その日が楽しみで、肩たたきをしてもらったり、一緒に歌や踊りを踊ったりして、活力をもらっています。小学生は体験学習として、昔遊びを教えてもらったり、戦争体験の話の聞いたりと、ここは、普段の生活では体験できない、高齢者の知恵や経験に触れることができる貴重な場所になっています。

サロンの利用者は、11月に行われる地区文化祭で、作品やフラダンスと花笠音頭を地域の皆さんに披露する予定です。



Nishikio
錦生

グランドデザイン2010

各地域づくり組織から提出された原稿を基に編集しています

ひなち地域ゆめづくり委員会

問い合わせ先
(比奈知公民館内)

☎・fax 68-1101
✉ hinachi-ko@emachi-nabari.jp

健康づくりで住民交流 スポーツ振興部会



市内で結成された数少ない地区スポーツ振興部会が活動を続け、現在地域づくり組織の部会として活動を行っています。

毎年、家族みんなで楽しめる種目やスポーツになじみのない人たちも楽しめる企画を実施しています。

また、『地区対抗ソフトボール大会』では、熱戦が繰り広げられ、地区内の団結はもちろん、地区を越えての親睦も深まっています。このように、さまざまなスポーツの機会を通して、健康づくりはもちろん、住民交流によるまちづくりを進めています。

「安心」の声かけで 防犯意識の向上 ～ 安全部会 ～



奈知地域には、防犯パトロールカーが巡回し、安全のぼり旗が立ち並ぶ光景が広がります。子どもたちへの声かけや住民同士の声かけも一段と活発になっています。

こうしたまちを演出しているのが安全部会です。留守がちな住宅団地を中心に夜間防犯パトロール、2学期が始まってから最初の1週間、小学校下校時の防犯パトロール、それらとあわせて金・土曜日に深夜徘徊する子どもたちへの声かけをする青少年健全育成パトロールを実施しています。

4人1組でのパトロールも今年で5年目を迎え、ようやく定着しはじめました。また、住民が安全タスキを着けて、下校時の児童を見守る散歩など、協力の輪も広がっています。地域内での防犯意識も高まり、地域内外に住民が見守る地域をアピールしています。ポイ捨てなどよくされていた公園も今ではきれいになり、環境

美化の効果も出てきました。

安全部会は、青少年育成市民会議やふれあい隊と協力し、専門的な経験ある人材を生かして、地域の安全パトロール活動を進め、市全体の活動につなげています。

今後は、青色パトロールの導入や一人暮らし高齢者への声かけなどの活動も進めていく予定です。



地縁法人 美旗まちづくり協議会

問い合わせ先
(美旗市民センター内)

☎・fax 65-3007
✉ mihata-ko@emachi-nabari.jp

「地縁法人」の認可を受ける

地域でさまざまなまちづくり活動を行っていくためには、きっちりとした組織と継続した運営が求められます。そのため、協議会では、かねてから法人化に向けての検討協議を重ねてきました。

地域住民の皆さんの協力により、法人の認可申請を行い、法人格を取得。今年4月より地縁法人美旗まちづくり協議会として運営しています。

地縁法人 美旗まちづくり協議会 事業部

- ・防災防犯推進部
- ・健康部
- ・環境部
- ・企画部
- ・児童育成部
- ・総務部
- ・地域文化振興部
- ・ビジョン委員会
- ・福祉部
- ・女性部



※ 地縁法人・・・一定の手続きで区域に住所を有する人を構成員とした「地縁による団体」が市長の認可で法人格を取得できるようになった。

地域の思いを乗せて
まちづくりは新しいステージへ
「はたっこ号」が走る

高齢化が進む中、交通弱者や地域住民の利便性を考え、美旗地域を循環するコミュニティバスの運行を検討。今年4月から交通不便地域を重点に運行を開始しました。

運行ルートは、公共交通機関が通っていない南古山地区から伊賀市のさしが台近鉄美旗駅などを経由して、桔梗が丘駅までの区間で、1日3往復しています。運行までには、生活圏が名張市で美旗地域に隣接する、

きしが台地区の住民自治協議会とも話し合いを進めてきました。

バスの愛称は「はたっこ号」。運営主体は、美旗まちづくり協議会などをつくる「美旗地域コミュニティバス運営審議会」です。美旗地域の児童に標章を選んでもらい、バスやバス停のシンボルマークとしています。

「はたっこ号」は、地域の移動手段と活性化への期待を乗せて走っています。



各地域づくり組織から提出された原稿を基に編集しています

中央ゆめづくり協議会

問い合わせ先
(中央ゆめづくり館内)

☎ fax 64-6755
✉ chuou-bo@emachi-nabari.jp

暮らす人も働く人も皆でつくる“まち” 地元企業も協力 “敬老のつどい”



▲敬老のつどいでは、まちの保健室の協力で、血圧測定や健康指導も実施した。



「とれたて名張交流館」も地域の中にある施設となり、大いに利用したい。



中央ゆめづくり協議会は、鴻之台、希央台という新しい2つの地区で立ち上げた地域づくり組織です。それまでは、名張地区まちづくり推進協議会の中でお世話になっていました。

今まで各方面からの協力を得ながら、スタートして、今年で発足して3年目を迎えました。

私たちの地域には、店舗や事業所が数多くあり、夏祭りなどのイベントの際には積極的に参加いただいています。また、地域内には、診療所も多くあります。お医者さんにも協力いただき、健康講座を開催するなど、共にまちづくりを進めています。

今年の「敬老のつどい」では、私たちの地域にできた天然温泉「癒しの里 名張の湯」に全面的な協力をいただいたの開催となりました。当日は、「とれたて名張交

流館」をはじめ訪れる人も多く、大変興味深く館内を回っていました。また、新しくできた温泉でゆっくりリラクセス。まちの保健室の協力で、健康相談や血圧測定、入浴中の見廻りなどをしていただいていたので安心安全でした。

懇親会では、福祉厚生部会が企画・準備したマジックショーや日本舞踊、ジャンケン大会などさまざまな娯楽を楽しみながら、昔話にも花が咲き、時間を忘れるほど大変有意義なものとなり、盛大に行うことができました。

このように、私たちの地域では、さまざまな人たちの協力をいただきながら、人と人が支えあい楽しく暮らせる町づくりを目指し、敬老のつどいをはじめ、合同クリスマス会や子育て広場などの親睦を目的とした活動も積極的に取り組んでいます。

名張地区まちづくり推進協議会

問い合わせ先
(名張公民館内)

☎ 64-2605 fax 64-2751
✉ nabari-ko@emachi-nabari.jp

隠(なばり)街道市 開催

第7回目となる隠街道市を11月10日(土)・11日(日)に開催します。多彩な催しを用意していますので、名張地区まちなか・初瀬街道へお越しください!

怪人二十面相なりきりコンテスト 参加者募集!

探偵小説の生みの親である江戸川乱歩は名張で誕生。隠街道市期間中に、乱歩の代表作に登場する「怪人二十面相」でPRしてもらおう仮装コンテストを開催! あなたも怪人二十面相になりきってください。

審査 アイデア・華やかさ・衣装、隠街道市での出役状況、ステージで2分程度のパフォーマンス

定員 20組程度。定員を超えた場合抽選

賞品 最優秀賞2万円、審査員特別賞1万円、優秀賞1万円、参加賞3千円

応募 名張公民館などに備え付けの申込書で10月19日(金)までに提出

◎詳しくは、名張公民館まで

人と人々が支えあい楽しく暮していくために

生活支援サービス「隠 おたがいさん」

名張地区は、高齢の皆さんが長年この地区で住んでいて気心を知った人が多いという特徴があります。利用者からの依頼は、歩いて行ける近所の協会員が出向きます。利用者からは、「顔見知りで家庭事情を分かってくれる人が助けてくれ安心。有償ということでは変な気を使わなくてもいい」と好評を得ています。協力者も、まさに近所同士おたがいの精神で積極的に活動してくれています。

現在、利用会員は43人、協会員が59人います。協会員には、民生児童委員の経験者をはじめ、30〜40歳代のPTA役員も参加するなど若い住民も協力的です。また、会員は、行政や社会福祉協議会、まちの保健室、地区の介護サービス事業者とも情報交換を定期的に行い、連携を図るようにしています。

今後は、高齢者向けの支援だけでなく、子育て世代へのサービスも追加していく予定です。



関係機関との勉強会。今後のサービス充実について検討